ウォルト・ディズニー 生誕110周年記念作品

愛する家族を失い、 地球から姿を消した男。

彼の名は一



ウォルト・ディズニー生誕110周年を記念する世紀の実候プロジェクト、 ついに実現!

「今、我々は夢が叶えられる世界に生きている

世紀のディズニー・スペクタクル巨編。滅亡の危機に瀕した神秘の惑星"バルスーム"を舞台に、愛する妻と娘を失った地球の男ジョン・カーターの驚異の戦いが、いま始まる! インスピレーションを与えたと言われるエドガー・ライス・パローズの伝説的小説を原作に、『ファインディング・ニモ』「ウォーリー』のアンドリュー・スタントン監督が初の実写映画化に挑んだ。 実現不可能と言われた夢を叶えた映像プロジェクトジョン・カーター』がウォルト生誕110周年記念作品として公開される。あの「スター・ウォーズ」「アバター」に多大な その生涯にわたり夢を追い求め、夢を実現し続けてきたウォルト・ディズニー。「今、我々は夢が叶えられる世界に生きている」という彼の言葉の通り

その惑星は、救いを求めていた。その男は、希望を求めてい

芽生えさせる。それは、愛する者を二度と失いたくないという強い思い…果たしてジョン・カーターと惑星パルスームの運命は? そして、なぜ彼はエドガーに日記を残したのか? かつて妻と娘を救うことができなかった無力感が、彼らと共に戦うことを躊躇させていた。だが、マタイ・シャンの無慈悲な攻撃にさらされるバルスームの惨状が、彼の中に新たな感情を 地球を凌駕する高度な文明を持ったこの星は、全宇宙を支配しつつある"マタイ・シャン"によって滅亡の危機に瀕していた。バルスームの民たちと心を通わせるカーターだったが、 冊の日記を残す。そこに記されていたのは、想像を絶する彼の"体験談"――生きる意味を見失っていたカーターは、ある不思議な現象によって未知なる惑星"バルスーム"に迷い込む。 1881年のニューヨーケー・ジョン・カーターという名の大富豪が謎の失踪を遂げる。愛する妻と娘を失って以来、他人とのつき合いを絶ってきた彼は、甥のエドガー・ライス・バローズに

この物語がなければ、「スター・ウォーズ」も「アバター」も生まれなかった

の名はエドガー・ライス・バローズが発表した伝説的SF小説の主人公として、実に多くの人々を魅了し、ジョージ・ルーカスやジェームス・キャメロンといった偉大なグリエイターたちの創作意欲を搔き立ててきた。



4.13――想像を超える、未知の世界に備えよ。

監督・アンドリュー・スタントン(「ファインディング・ニモ」「ウォーリー」) 原作・エドガー・ライス・バローズ 出演・テイラー・キッチュ / リン・コリンズ / ウィレム・デフォーオリジナル・サウンド・ラック・ウォルト・ディズニー・レコード ノベライズ・竹書房 ジュニア・ノベル・告成社刊 配給・ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン

